

最前線は突然に・・・ 哲学研究は大学常勤職以外で どのように活かされるか

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
大学・研究機関連携室
人文・社会科学コーディネータ
石崎恵子

はじめに

本日の内容

研修から就職までの体験をお話しすることで、大学常勤職以外で、

- ★社会人として求められがちなこと

- ★文系博士に求められがちなこと

- ★哲学研究者である私たち当事者が考えられることを考えます。

その過程で、前提として、「3つの事実」と、それを通して「学んだこと」を取り出し、「3つの提案」へと繋がります。

基本スタンス

- * 「3年次編入」「大学院重点化」「ポストクキャリア開発事業」といった、「学歴ロンダリング」「教育行政失政」の権化のような私ですが。。。
- * 行き場のない私の面倒を引き受け、折に触れ業績をつけさせてくださった指導教官をはじめとする先生方にはやはり感謝しかありません。

「失敗したところでやめてしまうから失敗になる」

（松下幸之助）

マイナスの除去よりも、プラスになることを考えたい

事実1：典型例ではない・・・

自己紹介

石崎恵子

- * 千葉県市川市立若宮小学校 卒業
- * 千葉県市川市立第四中学校 卒業
- * 千葉県立国分高等学校 中退
- * 中延学園高等学校 美術コース 卒業
- * 立教女学院短期大学 英語科 卒業
- * お茶の水女子大学 3年次編入
- * お茶の水女子大学 人文学博士 (Ethics) 学位取得
- * 宇宙航空研究開発機構 大学・研究機関連携室 人文・社会科学コーディネータ

「社会に適応できない、したいとも思わない」…でも、短大時代の宇宙に関する講義（還暦間近の非常勤講師の先生が嬉しそうに教えてくれました）を聴いて、倫理についてもっと学んでみたくなった。そしてようやく社会参加に納得できるようになった・・・

JAXAへの採用経緯

- * 前任者初代コーディネータは公募だったが、急遽異動のため緊急で後任が必要になり、「ポスドクキャリア開発事業」を活用することになった。
- * 指導教官から「JAXAに研修に行かない？」 意思確認
- * 学内面接⇒志望理由書 & 経歴 & 業績を提出⇒機構との面接
- * 4か月の研修を経て、正式就任。
⇒ つまりは、タイミング。

事实2：税金・・・

文部科学省 平成24年「リスク社会の克服と知的社会の成熟に向けた人文学及び社会科学の振興について(報告)」p29

ポストドクター・キャリア開発事業

(旧ポストドクター・インターンシップ推進事業)

平成24年度予算額：2,090百万円
平成23年度予算額：1,866百万円

現状・課題

- ・民間企業におけるポストドクターの採用実績が低く、就職口が少ない。
- ・ポストドクターの就職支援システムが確立されていない。

※ポストドクター：博士号取得後、大学等の研究機関で研究業務に従事している者であって、准教授等の職に就いていない者。

新成長戦略

(平成22年6月閣議決定)

2020年までに、**理工系博士課程修了者の完全雇用**を達成することを目指す。

第4期科学技術基本計画

(平成23年8月閣議決定)

企業等における長期インターンシップの機会の充実を図るなど、**キャリア開発の支援を一層推進**する。

事業の目的

ポストドクターを対象に、**大学教員や独立行政法人研究機関の研究**者以外に国内外において多様なキャリアパスが確保できるよう、**キャリア開発を組織的に支援するシステムを構築する取組に対し支援**する。

これにより、優秀な若者が、将来展望を持って科学の道に進むことを促す。

事業の概要

対象機関：大学、独法研究機関等（複数機関の共同申請）

新規選定：6件程度（H23:新規6件→H24:新規6件、継続6件）

事業期間：5年間 補助上限額：1件当たり年間500万円

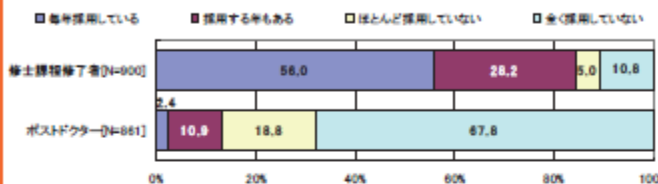
支援内容：○センター機能構築

○支援システム構築

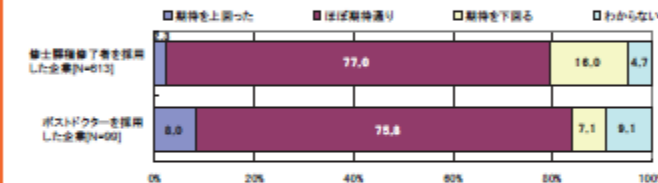
- ・指導教員、ポストドクター、企業への意識啓発
- ・企業等との交流会、講義等
- ・企業と人材のマッチング
- ・長期（3ヶ月以上）インターンシップ経費等に要する経費を支援する。

※平成23年度より旧科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」を本事業に統合

採用実績：民間企業におけるポストドクターの採用実績は低い

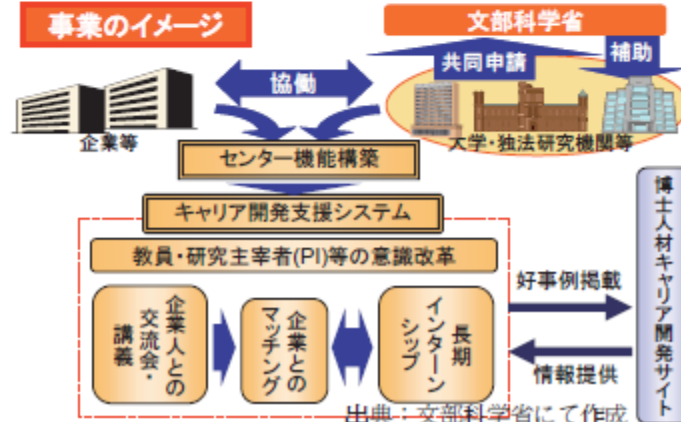


企業の採用後の印象：ポストドクターは採用企業の期待に応えている



※「民間企業の研究活動に関する調査報告(平成19年度)」(平成21年1月、文部科学省)より作成。有効回答数：924社。

事業のイメージ



お茶の水女子大学の場合 外部者も参加できるイベントあり ただし女性限定

ポストドクター／ドクターのキャリア開発に向けた取り組み
ポストドクター・キャリア開発事業(旧「ポストドクター・インターンシップ推進事業」)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

大学院博士前期課程・後期課程
ポストドクターの方へ

企業の方へ

本学教職員の方へ

本事業について

- ・背景
- ・本学の取り組み

博士・ポストドクター
キャリア相談室

女性リーダー育成
カリキュラム

長期インターンシップ

News&Info

- 【講義情報】2014年8月8日(金)、9日(土)「グローバル女性リーダー特論(実践編)」**「輝く女性リーダー」から学ぶリーダーシップのコツ**を開講します。(5/28掲載)

NEW

→詳細はこちら

- 【イベント】学内イベント・セミナー情報を更新しました。
2014年3月29日(土)第2回 博士人材キャリア開発セミナー「ワークショップ:働き方をデザインするー博士と仕事の新しいカタチー」を開催しました。(04/15掲載)

事実3：社会の常識とポストドクとのギャップ・・・？

研修内容①～マナー～

- * 英文Eメールに関するオンライン講座
- * 名刺の渡し方、案内の仕方などマナー講座
 - ★意外なNGワード:「なるほど」「素晴らしいですね」「今から楽しみにしています」
 - ★意外な便利ワード:「恐れ入りますが」「恐縮ながら」「大変申し訳ございませんが」等のクッション言葉

研修内容②～全ての基本～

* 「仕事人の基本」

- * 報告・連絡・相談(ほうれんそう)
- * クイックレスポンス
- * 約束厳守

参考文献：『プロ必携!仕事術マスター』『顧客ロイヤルティ向上に貢献する仕事術』 産業能率大学 通信教育教材

研修内容③～マネジメント～

- * タスクマネジメント： Plan Do Check Actionを回す。
 - ★情報はコンパクトにが鉄則。口頭なら約1分、紙なら約一枚以内に要点をまとめる
- * セルフマネジメント： 心身をベストコンディションに。
 - ★ポジティブシンキングは必須。同じ事象に対して、ポジティブな解釈で進んだ方が明らかに仕事がスムーズ
- * タイムマネジメント： 外部を優先する。逆算する。
 - ★タスクをリスト化すると意外に達成できる

参考：業務内容①～研究～

- * 共同研究のサポート（書籍化など）
- * 現在の主な連携分野
 - * 文化人類学
 - * 教育学
 - * 社会心理学
 - * 哲学・倫理学 等
- * 自身の研究
- * 主に宗教と科学についての研究発表を計画中

参考：業務内容②～教育～

* 連携講座のサポート

- * 学生の指導(資料の提示、発表の助言、レポートの添削、採点)
- * 機関報告書にまとめてレポジトリへ登録
- * 授業計画、講師手配

* 講義や発表例

- * 「宇宙と環境」
- * 「JAXAとトランスサイエンス」
- * 「JAXAと研究の自由」
- * 「JAXAについて～今後の講義との関連で～」

etc.

参考：業務内容③～アウトリーチ～

- * 一般向け公開シンポジウムの企画を通して研究活動を活性化する
 - * 連携先の先生のニーズを汲みそれを実現させる
 - * 責任者であるが、自分の思いを表す場ではない
 - * 企画を通すために必要なあらゆること...たとえば、
 - * 上層部が納得するように
 - * 集客できるように
 - * あらゆるリスクを回避する
 - * 一度出した提案はそれが前提になってしまうので慎重に

参考：業務内容④～社内連携～

- * 法務課

- * 宇宙法・宇宙政策(連携講義)

- * 有人宇宙利用本部

- * 人文・社会科学研究
 - * 研究協力、コーディネート(研究者紹介)

- * 研究開発本部

- * 要素技術の活用アイデア提供コーディネート(連携講義、研究者紹介)

JAXA 大学・研究機関連携室 人文・社会科学コーディネータという職

- * 研究・教育職ではなくあくまで職員ではあるが...
- * - 学術成果も出すべきとされ、
- * - 外部研究者との連携の際にはJAXA側のカウンターパートとなるべく研究者とし研鑽するべきとされ、
- * - 任期終了後は「(本人の自由ではあるが)宇宙開発についての研究者として巣立つことが望ましい」と示唆されている。

正直、荷が重いのですが、後任を目指される方がもしいらっしゃるならば、ご参考ください。

とはいえ、大学以外に、哲学・倫理へのニーズはあるのか

- * 一般に、「いかに生きるべきか」といったことへの関心にはバラつきがあり、ほとんどの人にとって(特に挫折を知らない人)は関心はないと考えた方が良い。・・・本当に必要ないのかは別。
- * ただし大学の学問は「机上の空論」と捉えられがち。特に「～における〇〇」はまず求められていない。「〇〇論の擁護」も危険。
- * むしろ、脳科学や心理学の実験結果、アンケート・統計の方が活用しやすい。そもそも「誰か哲学者一人がこう言っていた」というだけでは説得力がない。名言はスライドにしばしば使われるが。経営者の名言などに押され気味。
- * いずれしても、総合的に考察する潜在ニーズはある。一人では難しいので、異分野と協力するべきではないか。

この経験を通して、学んだこと

自分自身のことがより分かるように

- * 心理テストが瞬時に答えられるようになった。。。
- * 参考：INTP(大学教授型)のその他の適職

プログラマー、システムエンジニア、ソフトウェア開発者、企画部門、管理部門、マーケットや製品の開発者、ファイナンシャルアナリスト、起業家、ベンチャーキャピタリスト、ビジネスアナリスト、戦略プランナー、投資銀行、経営コンサルタント、企業内の研究開発職、ライター、グラフィックデザイナー、アニメーター、WEBクリエイター、批評家、編集者、写真家、エンターテイナー、音楽家、プロデューサー、ディレクター、ゲームプランナー、弁護士、弁理士、建築士、翻訳者、専門学校教師、科学者、学芸員、医師、獣医、薬剤師、

責任ある立場につくことの効用

- * 研修中と正式採用後では、正直、責任感がまるで違う。権限が増えるに伴い、あるべき世界や、為すべきことについて具体的に考え、実行できるようになる。同じ業務内容なのに・・・
- * という事は、業務内容に関わらず、とにかく責任を負うと違う景色が見えるのではないか？

「相手の立場に立つ」の奥深さ

相手の立場に徹底的に立つことは道徳ではなく、仕事の遂行に必要

- * 相手がどういう状況で何を望んでいてどんな前提知識があるか、等を徹底的に考え、そこから自分の行動が定まって行く
- * 普段からこういうことができている人がアカデミアであれ、企業であれ信頼を得て、良い仕事ができるのでは
- * これができると、良い文章が書け、良い講演ができ、人々に信頼されるようになるだろう
- * その「相手」とはだれか。拡張していくことが必要なのでは

3つの提案

3つの提案

当事者にしかできないこと

- * 提案1: 自分だけの道を考える
- * 提案2: 客観視する
- * 提案3: 外部との関係で位置付け直す

哲学研究者にとってはどれも得意なことでは

提案1:自分だけの道を考える

- * おすすめ:自分ができること(やりたいこと、やるべきこと)をとにかく列挙してみる

沢山あるはず。語学やPCスキルだけでも十分有難がられる場所があります

- * それでもダメなら・・・「ダメな理由」を書き出してみる

意外とダメじゃないことが分かったり、改善点が見つかったり

★ 騙されたと思ってやってみることをお勧めします。

提案2:客観視する

- * 「税金の使い道」という観点から、立場を離れて考えてみるのはどうでしょうか。
一例ですが、「科学技術立国における哲学の意義」について
 - 哲学は道楽的な側面が強い。そこに税金をつぎ込むことの意義について。
 - 道楽的な側面ばかりでなく、相対化する見方を与えてくれる点は。
 - 大学で行う意味は？ 大学以外で行う意味は？

提案3: 外部との関係で位置づけ直す

- * 他の学問分野、他の職種と関わる機会を増やす。
- * 綺麗ごとではなく、「職業に貴賤なし」 つくづく、哲学的な思考に達している人々はどの分野にもいて、しかも地に足がついた体験から自分の言葉で語れる。
- * 外の人と交流すると楽しく向上できる(哲学で使う頭の部位とその他のことで使う部位は明らかに違うと思う)

さいごに、図示すると

参考:

ピーター・ドラッカー
エドガー・シャイン

社会人として
学んだ2: 責任をもつ
提案2: 客観視して

天職

事実3: ギャップの問題

事実1: 典型化できない問題

哲学研究者として
学んだ1: 自分を知る
提案1: 自分だけの道を

文系博士として
学んだ3: 相手の立場にたつ
提案3: 外部との関係で

事実2: 税金の使い道の問題

ご清聴ありがとうございました

ちなみに・・・

偶然ですが、ジャック・ラカンのボロメオの輪にも重なる

